

計画のポイント

- ・尾張西部地域は、わが国最大の貿易額を誇る名古屋港や名神高速道路などの国際・広域交流基盤が位置しているものの、その機能を十分に生かしていない。また、地域を支えてきた繊維関連産業が海外との競合により衰退傾向にあり、地域の活力が低下している。
- ・そのため、名古屋港や高速道路網へのアクセス強化等を行うことにより、物流機能の強化と地域産業の育成を図る。

計画期間 平成20年度～平成24年度

1. 計画の目標

国際・広域交流基盤を活用した物流の円滑化及び地域産業構造の転換による地域競争力の強化

2. 目標を定量化する主な指標

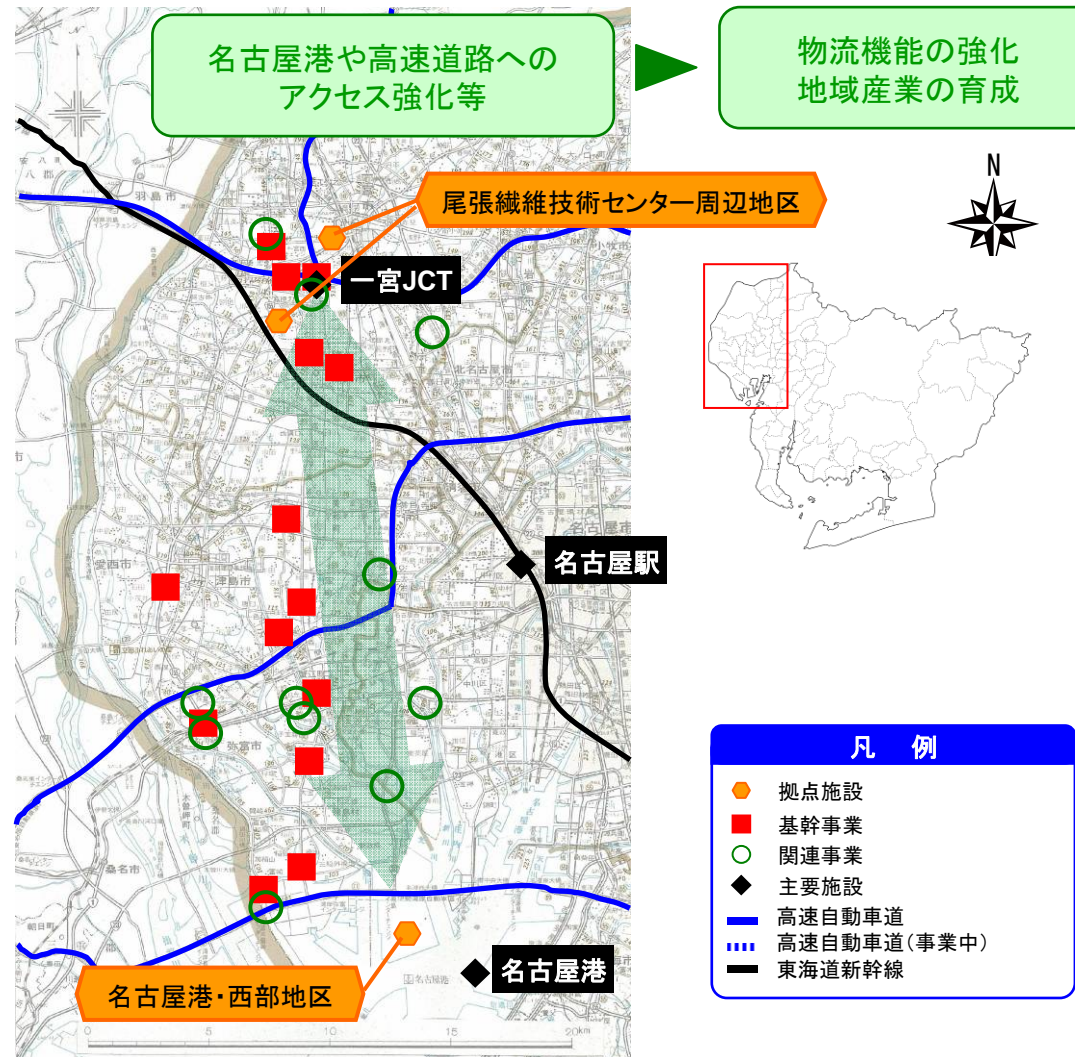
名古屋港における年間取扱貨物量(百万トン)
208(H18) → 230(H24)
西尾張地域における集積業種全体の付加価値額(億円):
5,600(H19推計) → 6,400(H24)

3. 主な事業

道路 国際物流推進事業
尾張西部地域産業活性化推進事業

4. その他

企業立地促進法基本計画(西尾張地域)の経済産業大臣同意(H20.2.1)



事前評価チェックシート

都道府県名 愛知県

計画名 尾張西部地域活性化基盤整備計画

I. 目標の妥当性

チェック欄

①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等との整合性が確保されている。 (該当するものに○) ①. 国土形成計画全国計画 2. 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3. 社会資本整備重点計画 4. 環境基本計画 ⑤. その他 (以下の空欄に計画名を記載) (新しい政策の指針 (愛知県))	<input type="radio"/>
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	<input type="radio"/>
2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	<input type="radio"/>

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>

III. 計画の実現可能性

⑤計画の具体性	
1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	<input type="radio"/>
2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	<input type="radio"/>
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>